

2023年5月8日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、北海道に次世代 DX 開発拠点 第五弾を開設
北海道函館市にシステム開発拠点「ICT KÖBÖ® HAKODATE」を開設
デジタル人財の確保と、北海道地域の発展に資するソリューション開発を推進

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、デジタルトランスフォーメーション(DX)部門の強化、および多様な働き方の実現を目的として、全国にシステム開発拠点の増設を進めています。

このたび、北海道函館市に新たなシステム開発拠点「ICT KÖBÖ® HAKODATE(読み:アイシーティコーボー ハコダテ)」を2023年5月8日(月)に開設します。



新拠点「ICT KÖBÖ® HAKODATE」開所式の様子

■ 開設の背景

凸版印刷は DX 事業に関して、「Erhoht-X®(エルヘートクロス)」というコンセプトを立ち上げ、社会/業界/企業のデジタル革新を支援するビジネスに取り組むとともに、社内のデジタル変革を推進しています。このような中で、DX 事業の核となるシステム開発部門の体制強化を目的に、2020年4月に長野県飯綱町に「ICT KÖBÖ® IIZUNA」、2021年6月に沖縄県うるま市に「ICT KÖBÖ® URUMA」、2022年9月に福岡県大牟田市に「ICT KÖBÖ® ARIAKE」、2022年12月に広島県廿日市市に「ICT KÖBÖ® MIYAJIMA」を開設。開発拠点の拡充による体制強化を図るとともに、地域の人々や企業との交流による新事業創出、現地の雇用拡大などの地域活性化を推進しています。

このたび、北海道函館市に「ICT KÖBÖ® HAKODATE」を開設。DX 戦略におけるシステム開発拠点の拡充と同時に、U/J/I ターン希望者の採用による移住者増加や、多様な働き方の実現、および函館市を中心とする北海道地域での採用を拡大することによる、地域活性化に貢献していきます。

開設に合わせて、北海道函館市(市長:大泉 潤)と「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を2023年5月8日(月)に締結。函館市と凸版印刷は相互連携のもと、地域の様々な課題に対応し、地域社会の活性化を図っていきます。

■ 新拠点「ICT KŌBŌ® HAKODATE」の特長

・函館市西部地区の歴史的建造物を活用

「ICT KŌBŌ® HAKODATE」は、函館市西部地区の歴史的建造物である「旧大洋漁業函館営業所」の外観を活かしてリノベーションしたオフィスです。函館市が推進する「函館市西部地区再整備事業」におけるリニューアル物件として、株式会社はこだて西部まちづく Re-Design(本社:北海道函館市、代表取締役:北山 拓)と株式会社建築企画山内事務所(本社:北海道函館市、代表取締役:山内 一男)の協力によってリノベーションが実現しました。函館市西部地区ならではの歴史が紡いできた「函館西部地区のライフスタイル」が表出する建造物で、函館の伝統を活かしながらデジタルによる新たな事業創出を目指します。

・他拠点ともロスの無いネットワーク空間

65 インチのモニターを通して東京や他の「ICT KŌBŌ®」と常時接続し、また社内ネットワーク上でのコラボレーションツールを活用することにより、コミュニケーション・ロスが無い開発環境を実現。



新拠点「ICT KŌBŌ® HAKODATE」

© TOPPAN INC.

・函館市との強力なパートナーシップ

企業との連携によって地域活性化/イノベーション推進を目指す函館市と包括協定を締結することで、強固な連携を実現。IT 人材の育成を始めとする地域のデジタル化支援や、先端技術の実証試験フィールドの提供による市民サービスの向上など、函館市と一体になって、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

・内装を凸版印刷の空間演出ブランド「expace®(エクスペース)」がトータルでコーディネート

「ICT KŌBŌ® HAKODATE」の内装は、凸版印刷が提供する空間演出ブランド「expace®」が担当。デザイン性と機能性に優れた建装材や、最新のセンシング技術などを組み合わせた高付加価値空間で、利用者が心地よく快適に過ごせるオフィスを構築しました。



新拠点「ICT KOBŌ® HAKODATE」 外観(左)、エントランス(右) © TOPPAN INC.



新拠点「ICT KOBŌ® HAKODATE」 オフィス内会議室 © TOPPAN INC.

■ 「ICT KOBŌ® HAKODATE」の概要

- ・名称: ICT KOBŌ® HAKODATE (読み: アイシーティーコーボーハコダテ)
- ・所在地: 北海道函館市大町 8 番 21 号
- ・フロア面積: 177.95 m²
- ・人数: 2 人(開設時)

■ 今後の展開

凸版印刷は、本拠点の新設により DX ビジネスを強化し、2028 年までに本施設において 30 人規模の体制を目指します。今後も全国にシステム開発拠点の増設を進め DX ビジネスのさらなる体制強化を目指します。

また、リモートワーク/テレワークなどの多様な働き方や、地元の企業や人々との交流による新事業創出、および地域の雇用拡大などにより、地方創生の実現に貢献していきます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上